

美郷がいちばん、好きです美郷

ふたし 議会だより

第40号
2014.7.15

3 国保会計へ1億9千万円

2 ラベンダー酵母の純米酒発売

七滝・水の森 植樹

定例会概要	2
全体質疑	4
一般質問	6
提出議案一覧	11
キラリ美郷人	12



限定販売されたラベンダー酵母W-2

ラベンダーの酵母で 造られた純米酒発売

6月定例会を、6月2日から11日までの10日間の会期で開きました。審議した議案は、国民健康保険税条例の一部改正や平成26年度一般会計補正予算などの議案。その全てを原案のとおり可決しました。

一般質問は3議員が登壇して町政を質し、陳情2件を採択し意見書を関係大臣に提出しました。

平 成26年度一般会計補正予算では、町ラベンダー園で栽培されている白色ラベンダー「美郷雪華」から採取した酵母での純米酒造りで、「ラベンダー酵母W-2」と名付けられた美郷雪華酵母の商標登録の補正予算3万8千円を追加しました。

こ の事業は、ラベンダーを活用した特産品開発として町内の酒造店に委託、平成23年度から酵母採取を行い、県醸造試験場での遺伝子解析や仕込み試験を行い、純米酒の醸造に適した酵母3種類を「美郷雪華酵母」と命名し、商標登録を申請したものです。

美 郷雪華酵母から造られた純米酒は、名水市場湧太郎「國之譽ホール」で6月24日発売発表会が行われ、「ラベンダー酵母W-2」と名付けられた純米酒が町内の酒店や飲食店で限定販売されました。

ほ かに自主防災組合2団体に370万円の助成金。東君堂・南千間谷地線にグリーン帯および歩道設置工事として274万円。千刈田・広田線の舗装補修工事に180万円など。歳入・歳出それぞれに2億374万2千円を追加し補正後の一般会計予算総額を113億1584万5千円としました。

◆定例会概要
みさと議会だより 第40号

国民健康保険特別会計へ

一般会計からの法定外繰入金

1億9千万円

セルフメディケーションによる健康長寿への 取り組みで医療費の適正化

今 定例会では、国民健康保険の税率を昨年に引き続き引き上げる条例改正案を賛成多数（賛成15人・反対2人）で可決しました。

本 年度は、歳入において前年度繰越金が3千万円ほど下回ることや、前期高齢者交付金が対前年比約9千4百万円の減少が生じていることに加え、被保険者の減少や所得の低下による税収への影響を勘案し、税率改正とともに法定外繰り入れを当初予算と合わせて1億9千万円とし負担軽減を図りました。

今 後の対策としてセルフメディケーション（自身自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする）による健康長寿の取り組みを推進し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図っていきます。



旧千畑南小学校 歴史民俗

俗資料館整備へ

6月11日、議案に対する質疑・討論・採決を行いました。
主な質疑と討論を要約してお伝えします。



六郷東根地内のグリーン帯

工事請負契約

内容 歴史民俗資料館整備工事請負契約を締結するものです。

周囲の管理は

深澤（均）議員 旧千畑南小学校周囲の雑草が伸び、住民から苦情がでていますが、管理は。
生涯学習課長 地域の方々に迷惑のからない管理をしていく。

国民健康保険税条例の一部改正

内容 国民健康保険税の税率を改正するための条例改正です。

値上げ幅は

武藤議員 一人当たりどれくらいの値上げか。
税務課長 医療分と支援金分と介護分を合計して2・3%増で一人当たり2469円の増額である。

農業所得の減少

泉（美）議員 申告が終わって住民の所得状況はどうなっているのか。
税務課長 国保税の基礎となる被保険者の基準所得は約3億4千2百万円減少し、192億1千5百万円。農業所得の減少が目立つ。

医療費の伸びは

泉（美）議員 医療費給付の伸びはどれくらいか。
福祉保健課長 国保の医療費は前年程度とみているが加入者が減っているため、その分一人当たりの給付は上昇すると見込んでいる。

一般会計補正予算

マイナンバー制導入の課題は

泉（美）議員 社会保障・税番号制度導入について、個人情報保護の問題は解決されているか。また、特定個人情報保護評価の具体的内容は。
総務課長 個人情報を確実に保護するため、特定個人情報保護評価を実施するものである。制度上の保護措置については、総務課が主体で、システム上の安全措置は共同電算の中で対応していく。また、個人情報取扱台帳の整備と町例規への影響調査を行うこととなる。

調整交付金への影響はない

深澤（均）議員 国保に繰り出しをすると、国からの調整交付金が減額されると聞いているがどうか。

国民健康保険特別会計補正予算

健康長寿へ取り組む

村田議員 国保税値上げの改正をし、さらに一般会計からも補てんしているが、国保財政の健全化に向けた考えは。
福祉保健課長 医療の高度化、被保険者の高齢化に伴い疾病の長期化、慢性化が見込まれ、被保険者の減少も加わり一人当たりの医療費は増加している。領収書の点検や安い後発薬の差額通知などしていく。健康長寿への取り組みを進め、運用の安定化、健全化につとめる。

訪問指導をしている

村田議員 重複診療への指導は。
福祉保健課長 重複、同一診療科目受診の時は保健師が訪問指導をしている。

現場の声を伝える

熊谷（隆）議員 今年から多面的機能支払交付金などが実施されたが、国の急激な内容変更で困惑している。現場の意見を伝えることはできないか。
農政課長 国や県の説明会の際、現場の声を伝えていく。

反対討論

泉（美）議員 社会保障番号制度導入支援事業の委託料はマイナンバー制度導入に関するもので、情報の適正な管理ができなくなる危険があるので反対する。

福祉保健課長 調整交付金への影響はない。

通学路の整備は

澁谷議員 歩行者の安全を守るための歩道整備とグリーン帯設置工事は、危険箇所すべてに行うべきと思うが。

また、対応は住民の要望でするのか、町が調査して行うのか。

教育総務課長 保護者と学校と協議し、安全を確保するように歩道とグリーン帯の工事を行うっていく。

町長 学童の構成により通学路は変わるので確定はできない。危険性の高い箇所を学校と協議し検討していく。

負担金の内容は

熊谷（良）議員 水資源保全全国自治体連絡会負担金の内容は。

住民生活課長 連絡会の目的は、地下水を公水と位置づけ、地下水を公水と位置づけ、将来にわたり有効活用できるよう情報の共有化をはかることである。

3 議員が

4項目を質す

ただ

質問者

深澤 均 議員

◇定住のための町内宅地事情と旧わくわく園跡地の有効活用について・・・掲載

泉 美和子 議員

◇セルフメディケーションによる健康長寿への取組みについて・・・掲載
◇医療・介護総合法案について・・・掲載

村田 薫 議員

◇親向けに「婚活本」の作製と配布を・・・掲載

旧わくわく園跡地の宅地分譲を

町長「急ぎ宅地化する考えはない」

議員 定住のための町内宅地事情と、旧わくわく園跡地の有効活用について次の2点についてうかがう。

①定住を望み宅地を探し求める声を耳にするが、要望を満たす物件がなく、定住を断念している方もいるようだ。定住のための町内の宅地事情の実態は。

また、定住促進のための町の取り組みは。

②旧わくわく園は住宅街にあり、あらゆる面で定住に最も適した地と考える。町は解体後の跡地を、駐車場や雪捨て場としての活用を考えているようだが、定住促進の観点から、宅地分譲する考えはないか。

町長 ①町内の宅地造成に実績のある企業3社から聞き取りを行った。合併後37区画の造成実績があり、5区画売れ残っている状況だ。今後も完売に向けて営業活動を継続することのことであった。町の対応としては、造成後の道路の除排雪や接続する町道の整備

を考えている。

定住促進の観点では、空き家等情報登録制度を創設している。現在、登録が27件で3件が契約している状況だ。定住促進の町の取り組みは、若者定住促進奨励金制度も継続し出来る限りの定住促進を展開していく。

②旧わくわく園の取り扱いは、建物は解体し、跡地は当面簡易駐車場として利用する。冬季間は雪の一時ストックヤードとして活用する計画だ。しかしながら、中長期的な状況変化により、新たな公共施設が必要となった場合は、その可能性を持たせることが出来ることなどが背景にある。

「宅地造成しては」との提案については、民間業者が存

在している当町において、その方々が事業展開しやすいよう、インフラ整備などの支援策を講ずることが肝要と認識している。したがって、旧わくわく園跡地を急ぎ宅地化する考えはない。



深澤 均 議員



解体予定の旧わくわく園

健康長寿への取り組み推進は

町長「意識の向上に努めていく」

議員 町としてセルフメディケーションによる健康長寿の取り組みを推進し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図っていく方針が示されたが、自己責任の強調、医療機関の受診の抑制、公的責任の後退などが危惧される。

セルフメディケーションによる健康長寿への取り組みが自己責任を強調することにならないよう、町が積極的に高齢者の健康づくりに携わっていくべきだ。

受診抑制で重大疾患の発覚の遅れはあつてはならないし、

軽度うちに早期発見、早期治療で医療費の増大を抑えることにつながると思うが見解をうかがう。

町長 セルフメディケーションは、自分で手当てできる場合は自分で対応していくという意識だが、自己責任を強調して行政は関係ないという概念整理ではないことに理解していただきたい。町では従前と同様に保健活動を実践し、その結果として自分の健康には自分で責任を持つよう意識の向上に努めていく考え方だ。重大な疾患を予防するため町としては、ガン検診をはじめ各種検診を実施している。保険者が行う特定検診とともに適切に受診していただき、発見が遅くなることのないようにしていただきたい。

医療介護法案について

議員 国では、医療・介護制度の見直しについて審議中だが、改正されれば介護難民や漂流患者が増えると思うが、町ではどう考えるか。

町長 法案では新たな基金創設と医療・介護の連携強化、地域における効果的な医療体制の確保、地域包括システムの構築と費用負担の公平性などが柱となっている。高齢化の進展に伴い、ニーズの多様化や費用の増大が見込まれるため、制度の充実と効率化を図る内容なので、介護難民や漂流患者が増えるとは思っていない。



健康増進のためのグラウンド・ゴルフ

議員 結婚問題は適齢期の子を持つ親や家族にとって切実な問題であり、あきた結婚支援センターにも家族からの相談が、毎日のようにあると聞いている。

町として、最新の結婚事情を親の世代にも理解してもらい家族で話し合うきっかけとなるような、親向けの「婚活本」を作製し配布してはと思うが、町長の考えをうかがう。

町長 町では、平成17年度から19年度にかけて出会いの場創出事業として婚活に関するイベントを実施したが、登録者数が少なかったことから町単独の事業を取り止めた経緯がある。

町では、県に対して結婚支援は市町村単独の取り組みでなく、より広域的な取り組みが必要と要望してきた。県は、平成23年度「あきた結婚支援センター」を設立し、出会いにつながるイベントの情報発信や結婚相談などを行なっている。登録会員数は今年4月末現在で2027名で、成婚報告者数も年々増加傾向であるとの報告を受けている。町として、今後ともPRに努め成果につなげたいと考えている。

価値観の多様性を背景にした結婚問題の難しさと、かつての町の取り組み実績をふまえると、広い範囲で取り組むことが効果的と考えられるので、町単独では「婚活本」の作製は考えていない。

結婚問題は結果的に人口問題に直結するので、先日、役場内に人口減少に対するプロジェクトチームを立ち上げ、新たな取り組みの可能性などについて議論していくことにした。

親向けに「婚活本」の作製と配布を

町長「町単独では行なわない」



村田 薫 議員



泉 美和子 議員

第5回議会臨時会提出議案一覧 (5/13)

承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈賛成14人：反対3人で原案承認〉
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて	〈全員賛成で原案承認〉
議案第44号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第45号	財産の取得について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第46号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第47号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第48号	平成26年度一般会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第49号	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第50号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉

第6回議会定例会提出議案一覧 (6/2~11)

議案第51号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全員賛成で原案可決〉
議案第52号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第53号	公の施設を宮古市が保育を実施する児童に使用させることに関する協議について	〈全員賛成で原案可決〉
議案第54号	国民健康保険税条例の一部改正について	〈賛成15人：反対2人で原案可決〉
議案第55号	平成26年度一般会計補正予算第3号	〈賛成15人：反対2人で原案可決〉
議案第56号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第57号	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第2号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第58号	平成26年度下水道事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第59号	平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算第1号	〈全員賛成で原案可決〉
議案第60号	工事請負契約の締結について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第2号	「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉
発議第3号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	〈全員賛成で原案可決〉

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。
議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍右工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛		
◎平成26年第5回議会臨時会																				
承認第1号	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◎平成26年第6回議会定例会																				
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

みさと議会だより 第39号 クイズ 回答と当選者

★クイズ回答

- 【問1】 白いうらバンダーの名前は、美郷○○です。 【回答】 雪華
 【問2】 平成26年度一般会計予算は○○○億9060万2千円です。 【回答】 111

◎クイズ当選者 熊谷道子 様 照井富子 様
 抽選の結果、次の方が当選しました。 佐藤章江 様



再任
戸沢 明人氏
(一丈木)

【人権擁護委員の推薦】
次の方の推薦に同意しました。

人事

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

- ◇陳情第6号 手話言語法(仮称)制定に関する意見書の提出について(陳情書)(全員賛成)
一般社団法人 秋田県聴力障害者協会 県南支部長 高橋 圭治
- ◇陳情第7号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択についての陳情書(全員賛成)
秋田県教職員組合 執行委員長 山懸 稔
秋田県教職員組合仙北支部 支部長 渋谷 聡

承認第1号
反対討論 泉(美) 議員 経済状況も依然として厳しい中、軽自動車税の引き上げは消費税増税とともに二重に住民負担増となるものであり、この専決処分は承認できない。

第5回臨時会

公共施設の雪害修繕経費などを追加

5月13日、第5回臨時会を開催し、未払い水道料金の訴えなど、専決処分事項の報告がありました。また、地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、税条例と国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分事項について賛成多数で承認しました。平成26年度一般会計補正予算を審議し、原案を全会一致で可決しました。主な内容は、雪により損壊した公共施設の修繕経費の追加や臨時福祉給付金子育て世帯臨時給付金の振り込み経費の追加などで、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれ2億932万円を追加し、総額1億1210万3千円としました。

第1回 議会のあり方・政策調査会 議員定数

次期改選期の1年前までに決定

3月11日設置された議会のあり方・政策調査会の第1回目の会議を4月21日に開催しました。はじめに今後の進め方についてを協議し、少子化対策については学習会を中心として進めることとしました。また、議員定数については、県内外の定数についての考え方や、進め方についてを参考にしながら協議を進め、次期改選期の1年前までに方向性を決定することとしました。

その後、少子化対策についての県や町が進めている出会い・結婚支援事業や、定住促進事業、福祉医療についての取り組み状況について町からの説明を受け、議員定数については資料を活用し検討しました。



左から3人目が夏紀君（山口国体の出場メンバー）

シリーズ キラリ美郷人 vol.35

ソフトテニスで“大活躍”



左が夏紀君、右はペアの山上剛君

齊藤 夏紀 元本堂南部

(24歳、身長169cm・体重68kg)

札幌学院大学では、ヨ
ネックスカップ国際ソフ
トテニス札幌大会で2位
になるなど、トップレベ
ルの大会で好成績を残し
思いっきりテニスに打込
みました。社会人2年目
の今春、それまで協力作
てくれた親を安心させた
思いで地元に戻り就
職。大仙市の姫神クラブ
に所属しプレーを続け、
今年2月の全県インドア

クイズ

問1 セルフメディケーションによる
〇〇〇〇への取り組み。

問2 ラベンダーの〇〇で造られた
純米酒。

……〇に入る言葉や数字などをお答えください …

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書
いてお送りください。正解者の中から抽選で3人
の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成26年8月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、9月上旬を予定しています。
傍聴をお待ちしております。

大会で優勝、5月の東北選手
権大会も優勝し活躍を続けて
います。
小学生の時は、野球・サツ
カー・陸上競技と何でもこな
すスポーツ万能選手。父母、
兄弟がソフトテニスをしてい
たので、6年生の後半には自
然にラケットを握ってしまし
た。中学校では、県選抜メン
バーとして都道府県対抗大会
で個人戦ベスト16に輝き、大
曲工業高校3年時には、全県
ランキング1位、インターハ

イ、国体にも出場し、その後
国体には現在まで6年連続県
代表選手に選ばれています。
「ソフトテニスは、メンタル
の部分が大きく試合前はかな
り緊張するが、対戦相手のタ
イプや癖をよみ、自分たちの
作戦がはまり勝利したときの
喜びは最高」と言う夏紀君。
現在の目標は、10月に大館市
で開催される第69回天皇賜杯
皇后賜杯全日本ソフトテニス
選手権大会で、ベスト8に入
ることと力強く語ってくれま
した。

美郷町議会事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp
美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>